

【第6学年】 児童の実態・課題及び授業改善策

	児童の実態・課題	授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●話し合いを進める際、スムーズに意見をまとめることが難しいときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学活と連携させながら、1年間かけて計画的にスモールステップを踏む。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 話し合う際のテクニックの習得。 (2) 話し合う際に焦点化するスキルの習得。 (3) 多様な議題を用意して、話し合い活動を常態化させる。 (4) 教員が段階的に支援を減らす。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●時代区分の説明をする際、時代の特徴を掴み、流れを追って説明することが難しい場面がある。 ●公民分野において「願いに対する工夫」という観点が身につけていないため「なぜ？」という問いへ、自分なりの考えをもてない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元が変わった際、それまでに学習した内容を一連の流れとして説明する時間を確保する。可能な限り毎時間、授業のまとめとして、既習事項の流れを確認する。 ・資料の並び替えなど、時代の流れを口頭だけではなく、視覚的にも分類できるような教材の使い方を授業に取り入れる。 ・法律や行政の仕組みを解説する際「自分の願い」を確実に想起させる。その上で、様々な法や仕組みの成り立ちや在り方をおさえる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○苦手意識をもっている児童も、問題解決に向けて取り組む姿が見られる。 ●基礎的な力が付いていない児童がおり、既習事項の定着に差が見られる。 ●自分の考えを根拠をもとに説明することに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四則計算を速く正確に行えるように、計測しながら向上させている。また、図形の公式などを復習し定着できるようにしていく。 ・ノートに図や表、数直線などを利用し、自分の考えをまとめ、発表できるように指導している。また、数字や単位を丁寧に書くことを指導していく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●観察や実験の結果をもとに、簡単な考察を書くことはできるようになってきたが、理由や根拠を具体的に挙げて説明したりより妥当な考えを導き出したりすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考察の段階で、クラス全体の観察や実験の結果を振り返り、それを根拠に考察を書くよう指導する。 ・個人の考えを書く時間を十分に確保し、その後、グループやクラスで共有する時間を取ることで、個人の考えを広げたり深めたりしながら、より妥当な考えを導き出すことができるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の思いはあっても、全体の場で発表することに消極的な傾向が見られる。 ●歌うことに対して消極的な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・息を使わない楽器での器楽合奏を行い、グループごとに練習をしたり、どのように練習すればよくなるなどの話し合いを設けたりし、全体の前での発表会を行う。 ・授業の最初に歌集などを利用して習慣的に歌う活動を取り入れる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ●表現しながら自分の思いを深めたり、さらに表すために材料に働きかけたりすることが苦手な児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動中に児童の思いや考えを聞いたり、見取ったりし、個別に課題を設定し表現を深められるように指導する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○普段の生活と結びつけて学習に取り組むことができる。 ●既存の知識で満足し、深めようとする姿が見られない児童がいる。 ●技能面に差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の考えをもつ児童との話し合いの機会を設定し、考えに広がりをもたせる。 ・調理等の実習は、学校で取り組めないところは、家庭学習に取り入れるなどして、対応したり、授業で動画をみたりしてイメージを高める。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かすことに積極的な児童が多い。 ●児童同士で助言し合う姿が見られないときがある。 ●自分やチームの課題を解決するための練習を考えることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに、他チームとの競い合いを意識させ、意欲付けをする。 ・単元の始めに、練習メニュー例を示し、児童が選択・発展させられるようにする。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを英語で伝えることを苦手とする傾向が見られる。 ●「書く」の指導で4線の上に正しい文字で書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを英語で伝えるときの伝え方をあらかじめ例示したり、声に出して繰り返し練習したりする。 ・担任が積極的に英語を使い、間違いを恐れず英語を話してみることが大切だということを伝えていく。 ・小学校の段階では単語を覚えることが目的ではないことを理解させ、アルファベットが4線のどこにくるのかを理解し、正しく書けるように指導する。